

ゼルジーンスコワ通り

ゼルジーンスコワ通りは、ミーラ通りとチェーホヴァ通りの間、ユジノサハリンスクの中心部に位置しています。それは北ブマージナヤ通りから南にポポーヴィチャ通りまで伸びています。著名な政治家である全ロシア緊急委員会の会長であったゼルジーンスキー（1877年 - 1926年）を記念して、1967年にその名前が付けられました。通りの元の名前はサピョールナヤです。サハリン南部の日本の植民地化の間に、この通りは四番目の東アベニューと呼ばれました。

ゼルジーンスコワ通りの最初の部分は手入れが行き届いていません。荒地、ガレージ、倉庫しかありません。住所ゼルジーンスコワ通り7番の最初の家は、数社の事務所がある管理棟です。ログートカ川を渡る歩道橋が通りの文明化された部分に通じています。それは南側 - 東側の住居とエクソンネフテガス社の4階建ての駐車場から始まります。

ゼルジーンスコワ通りはサハリンカヤ通り、ネヴェリスコーヴァ通り、ハバーロフスカヤ通り、コムニスターチェスキー大通り、カルル・マルクス通りで交差しています。

ホリデーパレスは、その珍しい建築様式で際立っています。こちらには、日本料理と東洋風のインテリアのあるレストラン、ロシア風のサウナ、メンズナイトバー、ディスコクラブ、そして豊富な種類のゲームなど、2つのレストランがある文化娯楽施設がありました。壁はダークブラウンの布張りです。家は暗い中世の城のように見えます。家は売りに中であり、持ち主は新しい持ち主を探しています。

街の昔の人たちだけが、この家の前半で会議が行われたレストラン「ヴェチェル」が昼食をとったことを思い出すかもしれません。会議の参加者は、南サハリンの住民たちが休んだ。

ゼルジーンスコワ通りには、いくつかの管理棟があります。そのうちの1つは、厳密に長い5階建ての建物（広くはペンタゴン）です。サハリン地域司法省、サハリン地域市民資格登録局、サハリン公共、サハリン - 北海道、連邦廷吏局、市登記所、市住宅検査、サハリン地域労働局。サハリン文化基金、統一ロシア党のサハリン支店、ロシア連邦共産党その他の機関が位置しています。それどころか、屋根が赤い色で塗られたいくつかの破片で構成されている平屋建ての元の構造は、建物に素晴らしい眺めを与えます。

その独創性、優雅さはサハリンエナジー社の緑色の建物であるジェルジンスキーストリートの他の家の中でも際立っています。年6月、この6階建ての本社事務所の開所式が行われました。同社はサハリン島の北東棚にピルトゥンアストーフスクエとルーンスコエの畑を開発中です。同社の目的は、石油、天然ガスの抽出、輸送、加工、販売です。石油、液化天然ガスは、サハリンから日本、中国、韓国、インド、アメリカ、そして台湾に輸出されています。サハリネナジーは1994年以来サハリン-2プロジェクトの下でサハリン島に取り組みできました。行政機関は住宅にもあります。ジェルジンスキー通りには3階建ての10階建て住宅があります。1988年10月30日に、サハリングラジダン・ストロイ生産組合によって建てられた98のアパートがある最初の10階建ての建物が発注されました。10階建ての住宅には、「州登録、地籍と地図作成のための連邦サービス」、「後見人保護部」があります。

通りの家はすべてソビエト時代に建てられました。例外は、東部軍事地区の318の軍事調査部門が運営している建物です。南サハリンの植民地時代に建てられた、ゼルジーンスコワ通りとコムニスターチェスキー大通りの交差点にあります。建物は行政および管理として建設されました。樺太総督会議場として日本の政権の公式会議のために意図されました。それは日本人

の建築家塚塚芳雄のプロジェクトによって 30 代前半に建てられました。この建築家は地元の歴史博物館の建物もノヴォアレクサンドロフスクの海洋地質地球物理研究所の建物も設計しました。北側の建物にはバルコニーと棚があります。これらは消火の跡です。それによると、知事は火災の場合には敷地を去ることになっていた。

サハリン州政府の建物は西部のみでジェルジンスキー通りに近づいています。

各都市の尊厳は緑地です。ゼルジーンスコワ通りには、市民はリラックスしたり、ベンチに座ったり、本を読んだり、一人で新聞を読んだり、友達と会ったりできる緑の島々があります。東側からは緑の劇場広場があります。新しい劇場の建物がオープンしてから 1964 年に創業しました。広場は年々改善されています。噴水と新しい花畑が現れてきました。年には、それはチェーホフの短編小説の英雄の彫刻で補充されました。彫刻はモスクワの専門家によって作られました。広場の向こう側には、チェーホフ国際劇場センターの建物が見えています。チェーホフ。毎年、芸術家は観客にいくつかの初演を楽しみにさせています。サハリン州政府の建物の隣の通りの西側、コムニスチーチャスキー大通りとの交差点に友好広場があります。それは象徴的な門を持ち、美しい花壇が配置され、広場は美しい金属フェンスに囲まれています。イチイを植え、白樺の路地を作り、石のスライドは日本時代の豊原市民によって行われました。彼らは樺太知事が住んでいた木造の建物の前に小さな公園を作りました。公園には白樺がありますが、大部分はイチイが植えています。イチイの木は装飾的な植物です。桜を除いて、日本人は何よりもイチイを崇拝するようと思われる、それで彼らが豊原を植えるとき、イチイを使っていました。

これで南サハリン敵意の終わりの後にこの建物は赤軍の指揮官を収容し、後には軍人の子供たちのために部門の幼稚園を収容した... 時間が経つにつれて、木造の建物は崩壊し、それは破壊され、典型的な建物は子供たちのために建てられました。日本の総督の本拠地の代わりにこの地域の指導者たちの胸像があります。胸像はサハリン彫刻家、ロシアの名誉芸術家、サハリン地域の名誉市民、ウラジミールニコラエヴィッチチェボタレフによって作られました。

記念碑レオノフ (1918 - 1992 年) の胸像は 1998 年 9 月に設置されました。1960 年から 1978 年にかけて、パーヴェル・レオノフは CPSU のサハリン州委員会の最初の書記を務め、地域の経済、医療および文化の発展に大きく貢献しました。サハリン州は極東の経済生活の中で重要な位置を占めています。クロパトコ (1936-1990 年) の石像は 1998 年 9 月に設置されました。イヴァン・クロパトコは農業専門家であり、ソビエト当局の従業員でした。1980 年に彼はサハリン地域執行委員会の副会長に選出されました。1985 - 90 年、彼はサハリン地域執行委員会の委員長を務めました。彼のリーダーシップの間に、農業、輸送、そして航空における重要な変化が成し遂げられました。

ファルフトゲーノフ (1950 - 2003 年) の青銅製のバスタは 2004 年 8 月 20 日に設置されました。1991 年から 1995 年のイゴール・ファルクティノフはユジノサハリンスク市執行委員会の委員長また市長としてつとめていました。1996 年 10 月から 2003 年 8 月まで サハリン州の知事でした。

サハリンリー州印刷会社はサハリン南部で最も古い印刷会社です。街が豊原と呼ばれた 1946 年 4 月 3 日に設立されました。この印刷会社はゼルジーンスコワ通りでは 1965 年から営業しています。

印刷物の品揃えは多様です。最も重要なことは本の出版です。現在、州印刷所はサハリンの一番大きな本出版社です。地元の歴史書は、この地域の文化財部の計画に従って印刷されています。本の出版の注文は、地元の地域博物館、州の歴史的アーカイブ、地域の教育機関から来ています。サハリンの科学者たちは、一連の「サハリンとクリルの歴史的図書館」を作成しました。近代的な設備、最新の技術は効率的かつ時間通りに仕事を遂行するのを助けます。

ゼルジーンスコワ通りには医療施設があります。1991年に、“フィナスト”サハリンアイマイクロサージェリーセンターが設立されました。ここでは、眼病は保守的な技術と先進的な技術の両方で治療されます。2002年、レーザー部門が開設され、サハリン地域を離れることなくこの地域の住民は治療を受けることができました。

1999年にサハリン地域医療予防センターが活動を開始しました。このセンターは教育活動に従事しています：健康的なライフスタイルの予防、地域の人口の中での病気の予防、病気の予防の効果的な方法の訓練、門戸を開く、無料の健康診断を保持します。

路上でゼルジーンスコワ通りでは新しい住宅地の建設にはなりません。中央市場近くの荒れ地に新しい社会的建造物が計画されており、それはゼルジーンスコワ通りからミーラ大通りまでの領域を埋めるでしょう。

ゼルジーンスコワ通りには大きなショッピングセンターはありません。

VTB 銀行、極東銀行およびガスプロム銀行の支店は市民にサービスを与えています。

ユジノサハリンスクの科学機関の1つは、州立歴史資料館です。この施設はジェルジンスキー通りの南部にあります。これは、地域の政治的、経済的、文化的生活を反映した文書の主な保管場所です。この建物は1976年に文書を保管するために特別に建てられました。今日、アーカイブには2,795の資金があり、そのうち620,982ユニットが紙の上であり、25,111の写真文書と8,107のフィルム文書があります。1917年以来、貴重な印刷物、日本語と韓国語の本、そして地元の新聞を含む、2万6千冊の本の基金がある図書館があります。2018年に、アーカイブは80周年を迎えます。